



実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであった。だから神は、彼らの神と呼ばれてもそれを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。 ヘブル 11:16 どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなたがたに満たし、聖霊の力によって、あなたがたを望みにあふれさせて下さるように。 ローマ 15:13

5

主のみことばは われらの心の まょ のぞ おそ と 迷いを除き 恐れを取り おも かんしゃ み われらの思いを 感謝に満たす。

6

7

^{わずら} こころ き 思い煩い 心に来たらば とこしえの友 主に打ち明けん みたす あらわ 主は御助けもて 現れたまわん。

8

きこそ慈愛みつ まなざしもて みまも 地上のわれらを 見守りつつ みくに みち みちび 御国への道へと 導きたもう。

9

さらばわれらは よろこび満ち ^{bt} 大つ御国に 翔りゆかん。 ^{tctか} 戦いぬきなば 御国は待てり。